

(男の子になりたい×ジェンダーメイド)

(嫌そうな感じで、主人様に性処理を命じられる)

(やや右・近)

ご主人様…

また、性処理奉仕ですか？

はあ…

言われなくたって、  
わかりますよ。

そうやって、

僕の前で、

ガチガチに立てた、  
うわざりのデカペニスを、  
突き出して、  
ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ。

僕に見せつけるように、  
一人でマスカキエッチして、  
僕の反応を楽しみながら、  
ズリズリ、ズリズリ、ズリズリと、  
卑猥な音を立てて、  
僕に強要して、  
来てるじゃないですか。

(左・密着)

(復唱する感じで)

今すぐ、  
ちんぽシコレ、  
ちんぽシコレ、  
このガツチガチになつて  
亀頭もズルムケになつたエロちんぽ。

メイドの手まん」で、

シコリまくつて、

射精、

しつかり面倒見ろくつて。

高給で雇い入れたメイドに  
性処理を、

強要して来てるじゃないですか。

(左・中)

そうやつて僕の嫌がる顔で  
マスターべーションが出来ちゃうつて、  
人としてどうかと思いませんけど。

(やや右・近)

あと、

前から言つてますけど、

僕は体は女でも、

心は男の子なんですから。

そんなものいくつ見せられても、  
恥ずかしがつたりは、しませんよ。

朝起こしに着たメイドの前で、  
ペニスを丸出しにして、  
朝立ちに便乗した  
モーニングマスターべーションを  
メイドに見せつけて…

その反応を見ながら、

シコシコ、シコシコ、シコシコ。

朝から元気なのは、

いいことですか…

嫌がられながら、

オナニーをするのが

大好きなのは、いけない事ですよ

ご主人様。

やつぎも言いましたけれど、

僕は心は男なんですから、

そんなものを、

見せつけられても、

(やや右・近)

(復唱する感じで)

ああ、こいつバカだな、

雇ったメイドの前で、

勝手にちんぽ出して、

ゴシゴシして、

それで射精するなんて、

気持ち悪いなあ、きもいなあ、

としか思ってませんからね。

そんなものを、

いくら見せつけられたって、

エロい気持ちに、

なるわけないじやないですか。

（）でメイドやつて、いるのだつて、

僕の心と体を一致させる

手術費用を稼ぐために、

高給な報酬でメイドとして

雇われている、だけなんですからね。

もちろん、

性処理の仕事も

契約内容に入つていましたから、

できる限りのことは、

してあげますけど…

僕は心が、男なんですから。

普通の、

女の子の反応なんて、

できませんよ

(左・中)

(復唱する感じで)

はあ

、顔は可愛いんだけど、  
もったいないな…

おちんぽオナニーの、  
オカズには使えるけど、  
男になりたいなんて、  
どうかしてる…ですか。

(やや右・近)

まあ、

ご主人様には

わからないと思いますけど、  
心と体が一致しないって、  
結構つらいことなんですよ？

そうやって、好き勝手に  
自分のペニスを握り締めて、  
メイドの前で「ゴシゴシ」、「ゴシゴシ」、「ゴシゴシ」。

楽しそうに男性やってる、

ご主人様には、

わからぬと思ひますけどね。

(中・密着)

つていうか…

人が真剣な話してると、  
なに手の速度、  
上げちゃってるんですか？

はあ、

僕の顔が綺麗で、

悩んでいる顔、

オナニーのオカズに最高ですか。

「とんだキモちゃんぽ野郎ですね」、<sup>△</sup>主人様は。

(やや右・近)

ほら、

そんなに早くシコれてるんだつたら、  
メイドの手伝いなんて、  
いらないですよね。

勝手にセルフマスターべーションで、  
射精していただけると、  
楽でいいのですけれど、  
そういうわけにはいきませんか？

はあ、お金で雇つてるメイドに  
ちんぽシコらせて、

手まんの中で、

モーニング射精したいから、

早くシコれ、

早くシコれ、早くシコれって…

速度上げて、

自爆しそうなちんぽ…

メイドに手まんを、

強要して、本当に気持ち悪いですね。

(右・近)

ほら、

やつてあげますから。

一人マスターべーションやめて、  
おちんぽ貸してください。

どうせ射精するまで

絶対に、

終わらないんですから。

ほら、

早くおちんぽシロるから、  
貸してください。

ふう、

もうガツチガチにそびえ返つて、  
スケベなにおいさせてる…  
エロちゃんぽ。

皮もズルムケになつて、  
亀頭パンパンにして、

メイドに今から、  
シコられるからつて、  
ヒクヒクしながら、  
期待している  
嫌味なエロちゃんぽ…  
本当に嫌いです。

(中・密着)

ほーら、  
痛くないように睡をかけてあげて～  
(つばをチンポに吹きかける音)  
んつ、ほり、

睡をかけてあげましたから、  
僕の睡ローション使って、  
ご主人様の、の  
ナルシストな一物を、  
シコりますよ。

(右・密着)

(やや)やき声で)  
ほーらシコシコ、  
シコシコ、シコシコ。  
心は男性のメイドさんに  
おちんぽシコひせて、

シコシコ、シコシコ、シコシコ～

仮が膨らんだ、

興奮しぃぱなしのエロちゃんぽ。

メイドの手まんこで

シコシコ、シコシコ、シコシコ。

(緩急漬けて シコシコ 10

)

ほーら、

次はもつと、

手まんこの穴ちちやくして～

ちんぱシコりますから、

イキたかつたら、

さつさといつて下さる。

僕はこれから、

別のお仕事あるんですから、

ご主人様のエロ奉仕ばっかり、

やつている

時間はないんですから。

この性欲丸出しの、

ガチガチおちんぽ、

さつさといつこられて、

いつちやつてください?

ああ…脈打つて、

メイドの手まんこ、

おいしい、おいしい、おいしいって、

朝から迷惑なおちんぽ、

シコシコ、シコシコ、シコシコ。

ああ、そうですか。

気持ちいいですか…

僕はとっても不快ですけど。

はい?

なんですか?

(左・中)

(復唱する感じで)

どうだ、  
ちんぽついてて、  
うらやましいか、  
お前が欲しくて、  
大好きなちんぽ  
シコれて嬉しいだろつて…  
相当やかましいですね。

(中・近)

ほーら、  
シコつてる手とは逆の手で、  
金玉をギューつて、  
握つてあげてますよ?  
ほー、ほー、ほーー。

メイドさんに、  
いやがらせしてくる、  
ゲスな金玉は、  
つぶしてあげましょーか。  
ほー、ほー、ほーー。  
  
そうやって、  
僕の嫌な顔を見て、  
おちんぽを、  
おつたてるオカズにして、  
いやがらせしながら、  
気持ちよくなれる、  
ゲスな性癖、  
本当に嫌いです。

ご主人様の、

この無駄にデカいちんぽも  
嫌い、嫌い、嫌い、大嫌いです。

高給で雇われなかつたら、  
絶対にこんな気持ち悪いちんぽの  
性処理なんて、

死んでもごめんです。

僕は手術して、

おちんぽつけてもうつても、

ご主人様みたいな、

ゲスな人間には、

絶対、絶対、ならないですから。

だからほら、

メイドに金玉握られて、

ちんぽ竿をズリズリ、ズリズリ、ズリズリ。  
必死にシコつてあげてるんですから、

ほら、

射精してください、

射精してください、

射精してください。

そのガツチガチに勃起して  
メイドに嫌がらせするのが、  
大好きな

クズ性癖ちんぽから、  
ザーメンひねり出して、  
射精してください。

(右・密着)

(ささやき声で)

ほら、

いけ、いけ、いけ、いけ。

心が男性のメイドさんじ、

強制的に性処理して、

それで気持ち良くなつて、

ゴミセクハラおちんぽから、

ほら、

ゴミザーメン

わいせと、

吐き出しつべださー。

もうヒクついて、

射精寸前のおちんぽ。

メイドの手(まん)の輪つかを  
す(さ)く、

ちつちやへ(し)て、

ほーら亀頭だけ、

ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ。

射精するように

追い込んであげてるんですから、

さつきとザーメン漏らして

僕を開放してください。

(息を吹きかけながら)  
ほら、いけ、いけ、いけ。

僕が大嫌いな、  
ご主人様のちんぽ、  
ほらいけ、  
ほらいけ、ほらいけ。

3、2、1。

ほら、

僕の手(まん)の中で、漏らせー！

ああ…

ひゅつひゅ、ひゅつひゅ、ひゅつひゅ。

(やや右・近)

朝だつて、いのに…

僕の手まんこから

あふれ出ちやうくらいの、

ザーメン飛ばして

僕に不快な思いを、

させながらする射精は、

気持ちいいですか？

ご主人様。

そうですか、

といつても『気持ちよくて、

よかつたですか？

はい、僕の『ご主人様のちんぽに  
喜んでもらえて、

反吐が出るくらい、

うれしいです

(中・近)

ほら、

拭いてあげますから、

そのままにして、

動かないでください。

(中・密着)

よいしょ、よいしょ…

射精したばかりの、おちんぽ…

ひくひくして、気持ちよさそうですね

男性は、これで好き勝手できて…

その点は、うらやましいです

(やや右・近)

ふう、

今日もキモい性処理奉仕、  
終わりましたね。

人のこと便利な、  
性処理ゴミ箱にして、  
人の気持ちなんて、  
一切考えない

ちんぽ奉仕、

本当に最低です、ご主人様。

(右・近)

ほら、(ジ)主人様の汚い DNA が  
こびりついたチリ紙は、  
ゴミ箱にポイとして…

じゃーあ、

僕は他の仕事がありますから  
行きますけれど、  
次はなるべく  
一人でやつていただけないと、  
助かります。

ご主人様のちんぽ、

僕は大嫌いなんですか。  
今度からできるだけ、  
一人で処理してくださいね、  
ご主人様。

(中・近)

(肩もみをしている)

ふう、

よーしょ、よーしょ、よーしょ。

どうですか、  
ご主人様。

忙しいメイドの時間を、  
使って、  
嫌々ながらやれる、  
肩もみはどうですか？

(左・中)

(復唱する感じで)

はあ、

とっても気持ちいい…

ああ、

もっと上のところもよろしくねって。

(やや右・近)

ふう、

僕はご主人様が気持ちよくても  
全然嬉しくないです。

全然

一緒に空間にいるのも  
基本的に嫌なんですから  
さつさと開放してください。

はあ、

怜雄(レオ)ちゃんはどうして  
男になりたいんだって。  
怜雄(レオ)ちゃんというのを  
やめてくださいますか、  
ご主人様。

僕のことは、

怜雄が、

怜雄くんをお願いします。

そうですね…

きっかけは男性のように  
自由に生きたいと、  
思ったことでしようか。

女性は、

何かとめんどくさいことが多いですし、  
男性は、  
自由そういうじゃないですか。

まあ、「主人様みたいに、  
メイドに嫌がらせをしながら、  
性処理をさせるなんていうのが、  
好きな自由人は、  
目指してませんけどね。

あとはそうですね。

自分の声や体が女性的である」と、  
だんだん違和感を持つようになつた」とでしょうか。

膨らんだ胸と、  
丸くなつた体を見て、  
本当にこれが僕のかつて…：

違和感が、

どんどん大きくなつてきて。  
気が付いたら、  
男性になる」とが、  
目標になっていました。

まあ、「主人様のように、  
ペニスでしか、

物事を考えられないような  
低能な方には、  
難しい話だったかも、しれませんが

ほら、

次は頭を揉んでくれって……

怒らないんですね。  
寛容なといふのは、  
いいですね

(中・近)

ほら、  
よ～しょ、よ～しょ、よ～しょ。  
少しほは低能な頭も、  
良くなれ、  
良くなれ、良くなれ。  
よ～しょ!

ふう…

それで、主人様、  
先ほどからツツコむのも嫌で、  
田をそらしていましたけど、  
そろそろ限界です。

何でメイドに、  
マッサージされて、  
ちんぽそんなにガツチガチに  
大きくなってるんですか…

ズボンの上から、  
見てもわかりますよ。

あと、先ほどから  
マッサージの気持ちよさだけでなく、  
別の声も混じつていましたよね。

このわよつと、  
耳につく機械音も  
気になつていましたし…

眞面目に、

お付き合いでするのも  
疲れてきましたから、  
もう宜しいですか？

(右・近)

(♂)主人様のシリ穴に、エロい道具が入っていてドン引き)

ああ、  
ズボンとパンツを一気に下ろして、  
ガツチガチになつたちんぽど、  
それは……

お尻に何か、  
道具が入っていますね。

オスのくせに、

お尻に何入れてるんですか、

「この変態」

え？

男性用のアナルバイブ入れて、  
自動で動くの楽しんでた？

もう射精しそうだから

手伝つてよ怜雄(レオ)君…つて。

(やや右・近)

いや、無理、無理、無理、  
最高に気持ち悪いです、  
ご主人様。

男性なのに自分でケツ穴に  
そんなものを入れて、

セルフマスターべーションで

気持ちよくなつている(♂)主人様なんて、  
僕絶対無理です。

(左・中)

(復唱する感じで)

はあ、

性処理も、

お給金に入っているよね。

もしやらなかつたら手術代、  
稼げなくなつちやうよ…って言つて

おちんぽ膨らませながら、  
僕をなだめないでください

わかりました、

やればいいんでしょ?

ご主人様のゴミ性癖に付き合つて、

そのガツチガチになつてる、

おちんぽから

射精させればいいんでしょ?

(中・近)

はあ…

ほら、

早く貸してください。

おちんぽ手でシコつて

射精させて、

終わりにしますから。

(中・近)

ほら、

ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ。

メイドにマッサージしながら、

一人マスターべーション楽しんでた

ゴミ性癖の変態(?)主人様のちんぽ、  
ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ。

ほら、キモイ性癖ちんぽ、

早く、

射精しよう！

射精しよう

(緩急漬けて、シコシコ連呼 10秒)

(左・中)

(復唱する感じで)

はあ！

ちんぽもいいけど

こちもよろしく…って。

何ケツ穴、

僕に向けてくるんですか。

本当に気持ち悪いですね。

ほら、

そういう趣味でしたら

さっやと終わらせてあげますから。

(右・近)

ほら、ケツに入った

キモバイブを手でつかんで、

ほら、

ズボズボ、ズボズボ、ズボズボ。

ちんぽとケツまんこ、

両方とも刺激されて、

何メスみたいな声、

出してるんですか？

心が男の僕に、

こんな情けない性癖見せつけて、

恥ずかしくないですか？

ご主人様。

(中・密着)

(ヌヌ)やき声(ニ)

ほら、

おちんぽとケツまん、

両方とも気持ちよく、

ゴシゴシ、ズリズリ、

ゴシゴシ、ズリズリ、

刺激してあげてるんですから、

さつさとイって下さる。

オスなのにケツまん」で

気持ちよくなれるような変態は、

メイドにケツバイブを、

一番奥まで入れられて、

ほら負けちゃえ、ほら負けちゃえ。

僕に性欲処理させ、  
キモーい」主人様は、  
ケツまん」飛ばして、  
早くイっちゃえ。

ほら、ほら、ほら。

「」がいいんでしよう?」

「主人様のケツ穴の一番奥。

オスGスポットを、  
ズボズボ、ズボズボ、  
ズボズボしてあげてますから、  
早くイっちゃってください。」

はあ、今どう思つているかですか?

(右・密着)

とっても、

最低な気分ですよ!

(やや右・近)

男性とか女性とか関係なしに、  
他人のケツ穴を、  
見せつけられながら、  
卑猥な道具を手でつかんで、  
ズボズボ、ズボズボ、ズボズボ、  
出し入れする感覚は、  
とっても気持ち悪いです。

(やや右・近)

ほら、  
僕が嫌がる顔をオカズにしながら  
ケツまんこ飛ばして、  
早くいつちやえ、早くいつちやえ。  
イケイケ、イケイケ！

おちんぽはもうこのまま  
シコつてあげませんから、  
ケツマンだけで射精して、  
無様な姿を僕に見られながら、  
ほらそれで、  
射精しちゃえ、  
射精しちゃえ、射精しちゃえ。

ほら、イケイケイケイケ、  
イケイケイケイケ、イケ！  
ほら、出せ、出せ、出せ！

(右・密着)

(ぎぎやき声で)  
ああ、ケツまんこ、  
痙攣させて、

道具を締め付けながら、  
全身ビクビク、ビクビク、  
ビクビクって痙攣しながら、

触つてもないちんぽから、

ああ～出でる、出でる、出でる。

ちんぽの先つぽから

情けなーートロトロ射精、

ぴゅうぴゅ出で、

といても気持ち悪いですね、

ご主人様！

人として軽蔑します。

(やや右・近)

まつたく、

こんなことでしか

気持ちよくなれないなんて、

どうかしてますよ、

ご主人様。

(やや右・近)

ほら、

お片づけは自分でやつてください？

ご主人様の広がったアナルなんて  
見たくもないですから。

自分でそれ抜いて、

自分でお掃除してくださいね。

ふう、

僕はあんな変態に  
付き合わなきやいけないなんて、

本当にやつてられない。

(街中で「ご」主人様と「ご」デートの待ち合わせ)

(右・遠)

はあ、「ご」主人様。

別にそんなに待つてませんけど…

ふう

街中で会つても、  
「ご」主人様は  
やつぱりイマイチ、  
パツとしませんね。

こう、何というか、  
残念なオーラが、  
ものすゞしい出でています。

お金貰つてなきゃ、  
「ご」主人様と一緒に  
街中を歩きたいなんて、  
絶対、思いませんよ。

と/or いうか、

会つた瞬間に、  
なんでそんなに  
残念そうな顔するんですか？

(左・中)

(復唱する感じで)

はあ、

僕が男の格好しているから、  
せつかくの「デート」なのに、  
「心折れた」ですか。

(やや右・近)

前から言つていたじゃないですか。  
僕は心は男なんですから、  
服装だって、私服は男性服ですよ。

屋敷でのメイド服みたいに

女の子やつている、

時間なんて、

プライベートでは、

ほとんどないんですから。

ほら、

ご主人様が、

今流行りのパパ活

やってみたいつていうから、

いやいや付き合つて、

あげてるんですから、

ヤツヤツビデオ行きますよ。

(二人で街中を歩く)

(右・近)

ほら、

ご主人様、見てください?

僕のこと、

周りはしっかりと

男だつて認識してくれていますよ。

ご主人様の隣で歩いて、  
ただの男友達としか、  
見られないこの雰囲気、  
ふふふ、とっても心地よいです。

お屋敷で、

メイドなんかやつているよりも、  
やっぱり僕は男として  
生きている時間のほうが、  
すごく充実しています。

(右・遠)

あつコラ、

ご主人様、人の手を取つて、  
どこに行く気なんですか…

つて、ン…

女性ものの

ファッショングーティックじゃないですか。  
しかも結構、

お高めな有名なところ…

なんで僕をこんなところに  
連れてきたんですか。

(左・中)

(復唱する感じで)

はあ、

今から服買ってやるから  
着替えて直せ、ですか。

男とデートなんかしたくないから、  
さつさと着替えて  
ちゃんとしたり、

デートやり直そうって。

(やや右・近)

(本気で嫌がつて怒る)

嫌ですよ、ご主人様  
僕は男なんですから、  
プライベートまで、  
女物の服なんて  
絶対着たくありません。

そんな事、いうのであれば  
僕は帰ります！

(中・近)

あ、コラ、コラ。

何で人の、と試着室  
引っ張つていくんですか。

はあ…

(左・中)

(復唱する感じで)

もし逆らうんだつたら、  
、のんちゃんぽしゃぶれですか。

こんな、いつ人が来るかも  
わからなーいところで、  
ご主人様のちんぽ  
しゃぶれつて、うんですか。

人の嫌なものを押し付けて、  
それで金を、  
払つてるのをいいことに、  
好き勝手やつて、  
本当に最低ですね。

(中・近)

ほら、じゃあズボンと、パンツ脱がせますよ?  
何意外な顔してるんですか。

しゃぶれつて言つたのは、  
自分じゃないですか。

女性になる」といき、

強制させるぐら、なら

いつもお屋敷でも、  
断つて、のんちゃんぽしゃぶり、  
この場でしてあげますよ、  
「のんちゃんぽしゃぶり」主人様」

ほら、

ズボンヒパンツ一気に脱がして…

萎え萎えの、のクソちんぽ。

(中・密着)

(フェラしながら)

ほら、

口まんこでしゃぶつて…

ほら、ほら、ほら、ほら。

(フェラ 5秒)

気持ちいいですか？

気持ちいいですか？

嫌がるメイドにちんぽしゃぶらせて、

それで気持ちいいですか？

(フェラ 5秒)

自分の心を、

否定されて、

こんなクソちんぽの、

面倒見せられてる

かわいそうなメイドの、

ちんぽしゃぶりは、

気持ちいいですか？

(フェラ 5秒)

(フェラ 5秒まで)

(右・近)

気持ちよく、

ないわけないですよね。

ちょうど口まんこに、

ちんぽ入れて、

ズボズボしただけで、

ちんぽもうガツチガチになって、  
興奮してるじゃないですか。

ほら、

誰が来るかわからない更衣室で、

オスの格好した僕に、

ちんぽしやぶられて、

はやく、いつてくださいよ

(中・密着)

(フェラしながら)

ほら、ほら

(フェラ 10秒)

嫌がる僕の口まんこに、  
ちんぽ出し入れして、  
それで興奮して、  
最低、最低、最低。

最低って言われて、  
何ちんぽ引くつかせて  
気持ちよくなつちゃつてるんですか。

ほら、

ほら、ほら、ほら、ほら、ほら、ほら、ほら。

(フェラ 5秒)

どうしたんですか？

竿だけじゃいけませんか？

じゃあほら、

このパンパンに腫らした  
金玉も口の中に入れて、  
しゃぶつてあげますよ。

ほら、

おしゃぶり、

おしゃぶり、

おしゃぶり、

(フェラ 3秒)

知っていますよ、**ゞ**主人様。

三日間オナ禁じて、

射精耐えてましたよね。

頑張つて精子溜めまくつて、  
デートの終わりに  
何するつもりだったんですか？

ほら、ほら、ほら。

パンパンになつた金玉、  
メイドがオスの格好しながら  
口マンコに入れて、  
しゃぶりつけていますよ。

こんなゴミちゃんぽ、  
しゃぶるの、  
絶対に嫌なのに、  
いやいや、ちんぽしゃぶつて、  
**ゞ**主人様の金玉に、  
**ゞ**奉仕してあげます。

ほら、ほら、ほらー。  
ドスケベな音響かせて、  
周りに聞かれちゃうかもしねないのに、  
おちんぽしゃぶり、  
頑張つてあげですよ

ふふつ。

ほら、金玉を口から抜いて、

負けそうになつて引くついている  
**ゞ**主人様のちんぽ竿。

ほーら

奥三

差し込んであげてますよ。

大嫌いなこの主人様のちゃんぽ  
ロマンにズリつけて、

真精こやかに。・

(フェラ 5秒)

出したらどうとく、

六一 緑林にいり

四〇

正統本草

男装した僕の口まんの中でも

田代氏の歴史

(ちんぽ、吸い付けながら長い音)

卷之三

ああい

主婦の間で人気の「おはな」。

ほら、

このきつたないちんぽ精子  
全部飲んであげますから、  
金玉を握り締めて、  
残ってるのも全部出しますよ、  
ほら。

(中・密着)

よいしょ

(ザーメン飲む音長く)

(右・近)

ふう、

終わつた、終わつた。

大嫌いなご主人様との、

クソデート、

終わりましたね。

ほら、

スッキリしたら、  
もう帰りますよ。

どうせ、

男の僕なんかじや、  
ご主人様は、

デートするの嫌でしそうから、  
さつさと帰りますよ、

ご主人様。

(中・近)

(レイプされる寸前の状況で)  
はあ、今からセックスさせろ、  
男になるための手術費用を  
即金で全部払つてやるから、

今から僕のおまんこに、  
ちんぽ入れて、  
セックスさせろ…ですか。

(やや右・近)

(冷めて軽蔑している口調で)

はあ、  
良いんですけど、  
したかつたら御自由に  
すればいいじゃないですか。

つていうか、

僕のことをベッドに押し倒して  
両手を掴んで、  
逃げられなくして、  
セックスをせうなんて、  
断れない状況にして、  
それでお願いしている  
つもりなんですか？

ご主人様。

これは立派なレイプですよ。

(中・近)

まあ、

したければ、

すればいいじゃないですか。

どうせ使う予定もなかつた、  
処女膜ですし、  
お金貰えるんだつたら、  
手っ取り早いですから。  
さつさとちんぽ入れて、  
好き勝手に動いて、  
終わりにすれば、  
いいじゃないですか。

ほーら、

手が止まつてますよ  
スカートめぐりあげて、  
男物のボクサー・パンツ、  
脱いであげますから。

(やや右・密着)

ほーら、  
入れたかつたら  
勝手に入れてくださいよ。

ご主人様が、

前から使いたがつてた、  
心は男の子の、

メイドのおまんこ

好き勝手に、

ちんぽ出し入れして

レイプセックス、

すればいいじゃないですか。

処女ですけど、

使う予定もなかつたんですから、  
お金貰えるんだつたら、

ちんぽ

出し入れしていいですよ。

ほら、

したかつたらさうさうと  
すればいいじゃないですか。

(やや右・近)

なんですか？  
僕の反応見て、

戸惑つてるんですか？

そんなこと、  
ありませんよね。

僕が嫌がってる最中にも、  
おちんぽ上向きに、  
ガツチガチに固めて、  
もうレイプする気、  
満点じゃないですか。

もしかして、

僕が前から

ご主人様のこと好きで  
ご主人様に抱かれるの  
喜ぶと思ってたんですね。

とんだ勘違い野郎ですね、  
ご主人様は。

僕はお金のために、  
自分の体を直すために、  
今からご主人様に、  
レイプされるんです。

ご主人様のその歪んだ性癖の  
はけ口にされるんですから、  
さつさことちんぽ入れて、  
射精したら、

お金払ってくださいよ、  
ご主人様。

(中・近)

ああ…

おちんぽ、  
おまんこの入り口に、  
ひつつけて、  
本当にするんですね。

嫌がるメイドの顔をオカズに  
自分の性欲のために  
人のまんこ好き勝手に使って、  
射精するんですね。

ほら入る、  
ほら入る。

ご主人様のちんぽなんて、

一ミリも欲しくない、

メイドの僕の、

おまんこに、

ご主人様のクソちんぽが、入るく

ん！

ああ～入った、入った。

初めてのセックスですけど、  
あんまり痛くないですね。

それともご主人様の生ちんぽを

入れられてるっていう、

嫌悪感のほうが

勝っているかもしません。

ほら、

大金はたいて買った

メイドのおまんこですよ？

好き勝手に、

使つたらいいじゃないですか。

ああ、

ガツチガチに立てて、

ちんぽ、まんこの中でゴシゴシ、  
ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシしてく

(XX・XX)

なんですか？ ちょっとは  
エロい声でも、  
上げてほしいですか？

上げませんよ。

僕はそんなもの、  
出し入れされたって  
全然気持ちよくないんですから。

ただ、

挿入されて  
自分の体の中に、  
不快感が広がるだけです。

(やや右・近)

(棒読みで自分の声を出す)  
出し入れされて、  
それでさつさと射精して、  
終わらないかなーって、  
終わりにしてくださいよ。

ご主人様に目線も合わせず、  
ただ耐えてるだけなんですから。  
早くそのレイプちんぽ、  
射精して、  
ズボズボ、  
ズボズボ、ズボズボ、ズボズボ。  
いつもオナニーに使つてる  
僕に嫌がらせしていくキモちんぽ、  
僕の体の中で、動き回つて、  
メスの穴をかき回してますけど、  
僕はそんなんじや、  
全然気持ちよくなれません。

僕は心は男の子なんですから、  
入れられるんじゃなくて、  
入れられるのがきっと、  
好きなんですから。

(やや右・近)

(強い口調で 射精を促す)

だからほい、

早く射精しろ、早く射精しろ。

メイドさんの僕のことをレイプして  
それで気持ちよくなれるんですから、

早く射精しろ。

ん?

イク、イク、イク、イク、?  
ほら、粘つてないで、

わいせと射精してください。

言つておきりますけど、  
外に出さないと、  
許さないですからね。

(中・密着)

ああ~

ぴゅうぴゅ、ぴゅうぴゅ、ぴゅうぴゅ。

外だししろって言つてるのに、

何で一番奥に、

ちんぽ付き入れて、

射精してるんですか。

(やや右・近)

ふう

気持ちよかつたですか?  
メイドのことを、  
レイプした中出し射精、  
気持ちよかつたですか?

ええ、

僕はとつても気持ち悪かつたです。

大嫌いなご主人様に抱かれて、  
セックス中に吐きそうでした。

でもご主人様は、  
嫌がられるのが、  
大好きなんですよね？

知つてますよ。  
僕が嫌がってるのに、  
どんどんちんぽおつきくして、  
気持ちよさそうに射精  
出来たじやないですか。  
最低の人ですね。

ほら、じゃあ、  
身なりを整えてきますから、  
お金払ってくださいね。

さつきどご主人様と  
お別れしたいんですから。

(中・近)

(メイド→執事にご主人さまが抱かれる)

(声質は、男の子に変更)

ほらほらほらほら。

気持ちいいですか、気持ちいいですか～

元メイドの、元、女の僕に、  
手術で作った、  
おちんぽで抱かれて  
気持ちいいですか。

ほら、ほら、

気持ちよくないわけないですよね。

さつきからケツ穴に、

僕のペニスを入れられて、  
気持ちよさそうに、

あんあん～あんあん～喘いで、  
情けなくメス声、

出しているじゃないですか。

ほら、ほら、ほら。

今日はもうひと、

女の子できるまで、  
許しませんよ。

もつとケツ穴広げて、

僕専用の  
オナホ便器になるまで、

許しませんよ。

ほら、ほら、ほらー。

(やや右・近)

ふふ。

高値で僕を執事として雇つて、  
それでケツ穴掘らせてる(=)主人様。

本当に最低ですね。

でも、

メスだったときよりも、  
今は(=)主人様の(=)こと、  
好きですよ。

だってほら、

毎日(=)の僕のおちんぽの

トイレ代わりになってくれるんですから。

性処理の方法なんて  
わからなかつたんですけど、  
こうやつてケツまんこに、  
性器を叩きつけて、

それでほり、

僕のガツチガチになつたペニスで、  
ご主人様のことと、  
ガン突きしながら、  
ほらほら、

ふう

ほらメス声、

メス声、

もつとメス声上げる。

そのちつちやくなつた

「ゴミちゃんぽ、

ぱるぱるさせられればがら、

僕に抱かれるの、

好きなんだしょ？

ほり、

僕のちんぽ、もつと締め付けて、

ほり、

もつとくだり、もつとくだり、

もつとくだり、

自分が履い入れた元メイドの

僕のおちんぽに、

ご奉仕してくだり？

(やや右・近)

ふう。

ご主人様？ 抱かれるたびに、

おちんぽちつちやくなつてますね。

体もなんだか、

丸くなつてきでいますし、

ご主人様は、

本当はメスになりたいんじゃないですか？

僕のおちんぽに負けで、  
男の子やめたくなつちゃいましたか？

(中・近)

ほらほら、ほらほら、  
もつと、もつと、もつとー。

ご主人様の情けなーい

子どもペニス見下ろしながら、  
僕のガツチガチのかつこい  
男の子ペニスをほら、  
ズボズボ、ズボズボ、ズボズボ。

(中・密着)

(しゃしゃき声で)

ほら、

ここのがいいんでしよう？  
ここのが。

男のこの前立腺、  
男の子Gスポット、  
元メイドのおちんぽに、  
かき回されて、  
それでまた情けなくレイプされて  
射精したいんでしよう？  
ふふふ。

ほら、

ご主人様は、

僕の処女まんこも、

童貞おちんぽも、

両方使ったんですから。

責任とつて、

僕が一番気持ちよくなれる  
セックスして、

ご奉仕してください?

(中・近)

ほら、ほら、ほら。

腰をへコへコ、へコへコ、

へコへコ振りながら、

僕のおちんぽが、

一番気持ちよくなれる  
ちんぽの出し入れの仕方、  
してあげてますよ?

ご主人様の、

そのせまーいケツ穴に、

ふふ、

僕のおちんぽ、

ああ~出し入れして、

とっても気持ちよくなっています、

ふふ。

まだちんぽ出来上がりたてで、  
そんなに使ってないのに、  
もうセックスの味を覚えちゃって、

このケツ穴以外では、

射精、

なかなかできなくなりそうです。

ほら、

僕のちんぽ金玉持ちあがって、  
おなかの奥ビクビクして、

精子が、

上がってくるのわかるでしょ?う?

ほら、

発射準備完了のサイン。

ケツ穴に送つてあげますから、  
射精された瞬間に。

ケツ穴締め付けて、  
僕のザーメンおトイレになつてください。

(右・密着)

ほら、ぎりまわよ、  
さーん。

ほらちんぽ、ちんぽ、ちんぽ。

ケツへ、早くして、

ご主人様に

射精をプレゼントする準備してますよ。

ほら、ほら、ほら。

(中・密着)

にーい。

ほーら(主人様のちんぽ、  
さつき)から勃起もできていない、

クリちんぽ。

ブラブラさせながら、

僕の中出し

楽しみに待つているの、  
わかりますよ?

ふふつ。

オスのくせに

レイプされるのが大好きな変態め。

ほら、

僕にザーメンもらつて、  
女の子になつちやえ。

(左・密着)

いーち。

ほら、出す、出す、出すぞ。

そんなエロビッチ顔になつてゐ

ご主人様の、こと、

ただのスケベなメス穴だと思つて、

中出し、ほら、

中出し、中出しイク。

ほら、出る、出る、出る、出るー。

オラ、

ゼロ、ゼロ、ゼロー！

オス(?)主人様のケツ穴まんこに  
中出し射精。

ああー

出てる、出てる、出てる。

金玉ビクビクーってなつて、  
全身気持ちよくなつて、

ご主人様のこと

便器代わりにして射精してゐる。

(右・密着)

ああー

出ちゃつた、

ああー出ちゃつた、出ちゃつた。

(中・密着)

ほら、脣震してへださー。

ほら、

きしゅ、きしゅ、きしゅ。

僕専用のおトイレ便器の

ご主人様にきしゅして、ふふつ。

(キスフェラ 8秒)

今日もたくさん

気持ちよかったです。サイン、

してあげますよ。

ふう。

(やや右・近)

ああ、

やつぱり男になるって、

良いことですね。

「これからは」主人様の」と、  
毎晩使いにきますから、  
覚悟してください?」?

ふう。

僕は心も体も

男の子なんですからねー

ふう。

(右・密着)

僕の女になれるように、  
がんばってください」ね

(ゆっくり読む)

「主人さまー